

# 第18回 定時株主総会 招集ご通知

## 株式会社ビューティガレージ



日時 | 2020年7月30日 (木) 午前10時

場所 | TKPガーデンシティ渋谷 ホールA  
東京都渋谷区渋谷2-22-3 渋谷東口ビル1階

決議事項 | 第1号議案 取締役 (監査等委員である  
取締役を除く) 5名選任の件  
第2号議案 監査等委員である  
取締役3名選任の件

|    |                  |    |
|----|------------------|----|
| 目次 | 第18回 定時株主総会招集ご通知 | 6  |
|    | (添付書類)           |    |
|    | 事業報告             | 7  |
|    | 連結計算書類           | 24 |
|    | 計算書類             | 27 |
|    | 監査報告書            | 30 |
|    | 株主総会参考書類         | 35 |





代表取締役CEO  
野村 秀輝

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年4月期は、着実な営業努力を積み重ねた結果、物販事業、店舗設計事業、その他周辺ソリューション事業共に順調に拡大しました。特に化粧品メーカー様とのお取引口座開設の増加に伴い、化粧品・材料売上を大きく伸ばすことが出来ました。

結果として、期末には新型コロナウイルス感染拡大の影響がありましたが、売上高、営業利益、経常利益共に昨年を上回る結果となりました。

2021年4月期におきましては、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響が見込まれますが、中長期的な視点でECサイトの改善、物流への投資などお客様の利便性を更に高めてまいります。

また、このたび、新たに2025年4月期までの5ヶ年の中期経営計画を発表しました。新中期経営計画の中では、前半3ヶ年を「成長加速ステージ」、後半2ヶ年を「飛躍のステージ」と位置づけ、「美容業界を変える」をスローガンにまずは「2024年度に国内美容ディーラーとしてのTOPの地位」を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、どうぞ引き続き一層のご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

# NEWS&TOPICS

ご参考 ニュース&トピックス

海外新店舗 2019.5

BEAUTY GARAGE TAIWANが台北市に  
大型ショールームをグランドオープン



2019年 5月

6月

7月

8月

IRニュース 2019.7

株式会社BGベンチャーズが運営するBGベンチャーファンド第1号投資事業組合が投資開始

(2019年度は年間で美容関連ベンチャー企業に6社の投資実績)

## IRニュース 2019.9

登録会員サロン口座数が40万を突破



## IRニュース 2019.9

理美容室向け大手美容器具メーカー  
株式会社大広製作所との正規販売代理  
契約を締結



## IRニュース 2020.2

美容室開業マニュアルの決定版  
「失敗しない美容室開業BOOK」第二弾が発売



## 新商品 2020.3

株式会社ユーグレナと販売代理契約を締結  
同社製品の取り扱いを開始



9月

10月

11月

12月

2020年 1月

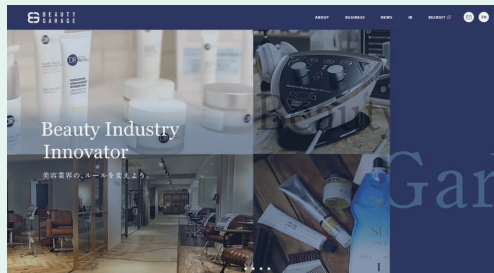
2月

3月

4月

## お知らせ 2019.10

コーポレートサイトをリニューアル



## IRニュース 2020.2

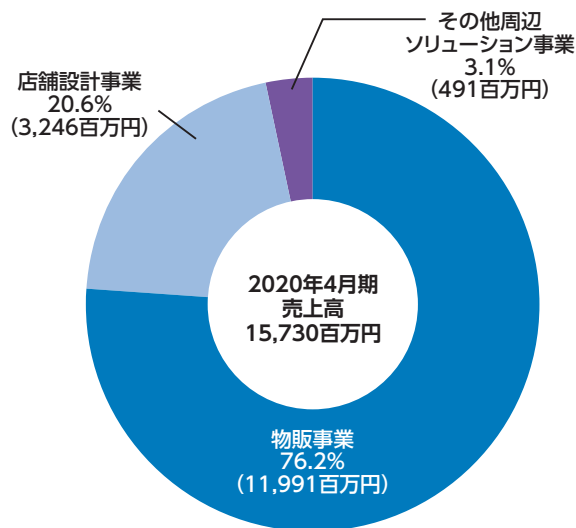
理美容室・エステ・ネイル・アイラッシュサロン向け物件に  
特化した「サロン不動産ネット」全面刷新



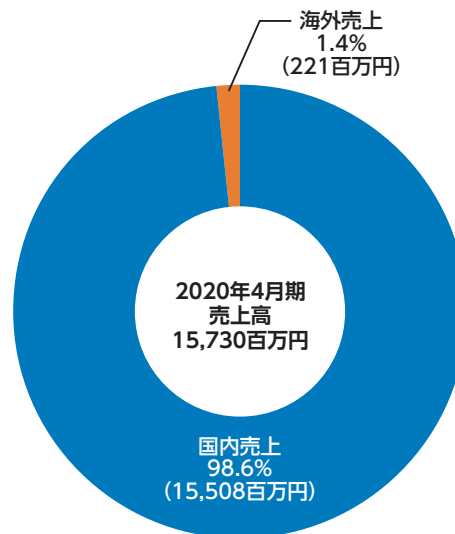
■ 売上高 **15,730百万円** 前年同期比113.6%

■ 経常利益 **747百万円** 前年同期比115.6%  
(経常利益率4.8%)

セグメント別売上高構成内訳

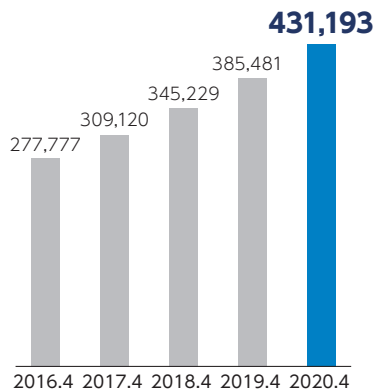


国内外別売上高構成内訳

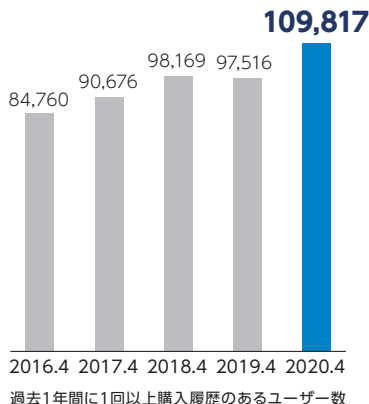


## 顧客基盤 43万サロン超

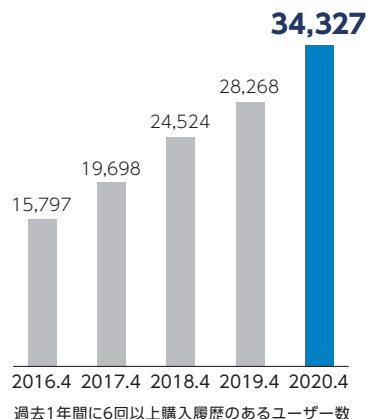
登録会員口座数の推移 (口座)



アクティブユーザ数の推移 (口座)

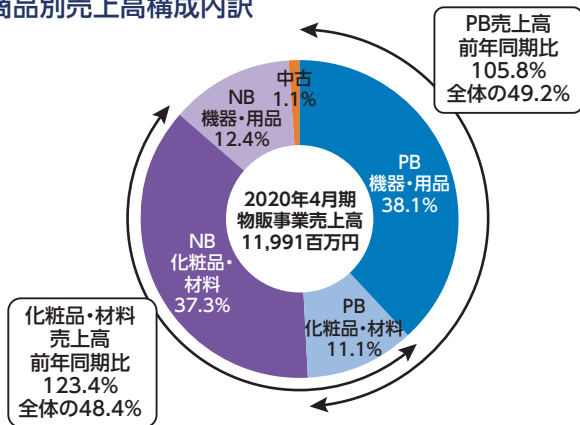


ロイヤルユーザ数の推移 (口座)



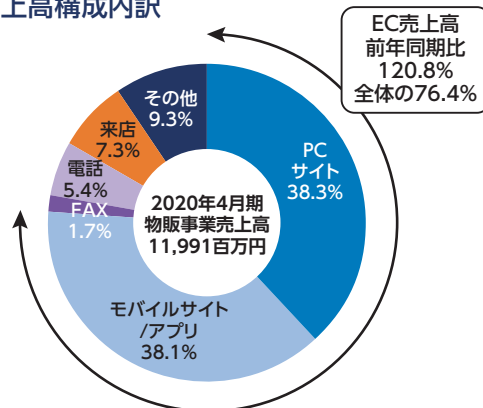
PB比率 **49.2%** 化粧品・材料比率 **48.4%**

商品別売上高構成内訳



ECサイト売上高比率 **76.4%**

販路別売上高構成内訳



## プラットフォーム機能を最大化し、 BtoB美容商材EC流通における圧倒的な地位を早期に確立する

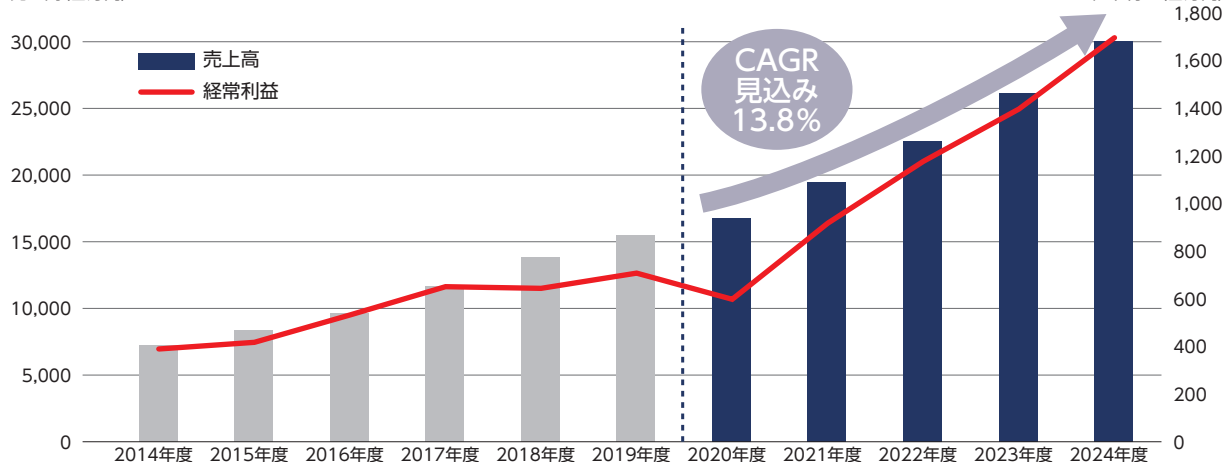
### 基本方針

1. 利便性、品ぞろえ、価格、認知度を大幅にレベルアップ
2. 物流機能の拡充と利便性向上
3. OMOコンセプトによる、オムニチャネル型販売の最適化
4. ソリューション事業の拡充
5. 新サービス創出と外部リソース取り込み
6. 海外事業の早期収益化と戦略見直し

### 5ヶ年数値計画

|       | 2019年度(実績) | 2020年度(予想値) | 2021年度(目標) | 2022年度(目標) | 2023年度(目標) | 2024年度(目標) |
|-------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|
| 売上高   | 157.3億円    | 167.3億円     | 195.0億円    | 225.0億円    | 261.0億円    | 300.0億円    |
| 経常利益  | 7.4億円      | 6.0億円       | 9.2億円      | 11.8億円     | 14.0億円     | 17.0億円     |
| 経常利益率 | 4.8%       | 3.6%        | 4.7%       | 5.2%       | 5.4%       | 5.7%       |

売上高(百万円)





証券コード 3180  
2020年7月14日

## 株主各位

東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号  
株式会社ビューティガレージ  
代表取締役 野村 秀輝

### 第18回 定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当会社第18回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、当日ご出席されない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示いただき、2020年7月29日（水曜日）営業時間終了時（午後6時30分）までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬具

#### 記

|                 |                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 日 時          | 2020年7月30日（木曜日）午前10時（開場時間 午前9時半）                                                                                                                                                                                    |
| 2. 場 所          | 東京都渋谷区渋谷2-22-3 渋谷東口ビル1階 TKPガーデンシティ渋谷 ホールA                                                                                                                                                                           |
| 3. 会議の目的事項      | 報告事項 第18期（2019年5月1日から2020年4月30日まで）事業報告、計算書類及び連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件<br>決議事項 第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）5名選任の件<br>第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件                                                            |
| 4. 招集にあたっての決定事項 | (1) 議決権行使書による議決権行使の期限は2020年7月29日（総会日の前日）の営業終了時刻である午後6時30分の当社到着分までといたします。<br>(2) 議決権行使書面において、各議案に賛否の意思表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。<br>(3) 議決権の不統一行使をされる場合には、株主総会の3日前までに議決権の不統一行使を行う旨とその理由を書面により当社にご通知ください。 |

以上

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席の間隔を拡げることからご用意出来る席数が例年より減少いたします。そのため、ご来場いただいても満席のため入場いただけない場合がございます。予めご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。
- ▶ 会場受付付近で、株主様のためのアルコール消毒液を準備いたします。ご来場の株主様は、マスクの持参・着用をお願い申し上げます。また、株主総会の運営スタッフは、検温を含め、体調を確認のうえマスク着用で対応をさせていただきます。
- ▶ 当日ご出席の場合は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付へご提出ください。また、資源節約のため、本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。
- ▶ 本招集ご通知に添付すべき書類のうち、連結計算書類の「連結注記表」および計算書類の「個別注記表」につきましては、法令および当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、本招集ご通知の添付書類には記載していません。上記ウェブサイト掲載事項は、会計監査人および監査等委員会の監査の対象に含まれております。
- ▶ 株主総会参考書類ならびに事業報告、連結計算書類及び計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。当社ウェブサイト アドレス <https://www.beautygarage.co.jp/>

# 事業報告 (2019年5月1日から2020年4月30日まで)

## 1 企業集団の現況

### (1) 事業の経過及び成果

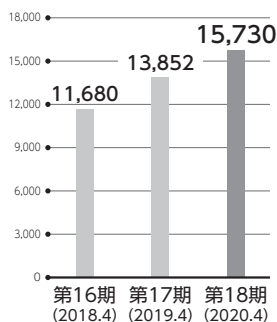
当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦、消費増税の影響等もありながら第3四半期までは緩やかな回復基調が続いておりましたが、第4四半期には新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の自粛等の影響により、景気が急速に悪化し、極めて厳しい経済状況になるとともに先行きも不透明な状況と変わりました。

美容業界におきましても、経済活動の自粛に伴う各店舗の休業措置や時短営業、顧客の不安心理増大に伴う来店数減少、新規出店の中止・延期等といった厳しい事象が続いております。

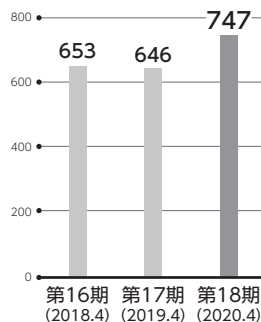
そのような状況下、当社グループでは提供する商品・サービスの拡充とレベルアップに努めるとともに、WEBマーケティング施策による既存顧客の活性化と新規顧客の獲得増加に向けて注力することで、順調に業績を拡大してまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、第4四半期とりわけ2020年4月単月業績への影響が一定程度ありました。

この結果、当連結会計年度における売上高は15,730,294千円（前年同期比13.6%増）、売上総利益は4,774,953千円（前年同期比13.3%増）、営業利益は730,038千円（前年同期比16.2%増）、経常利益は747,337千円（前年同期比15.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は408,002千円（前年同期比7.1%増）となりました。

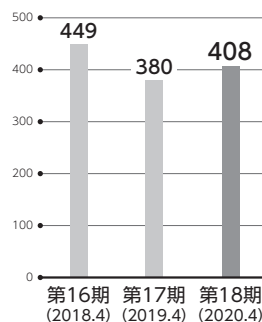
■ 売上高 (百万円)



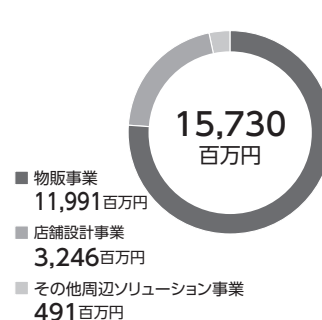
■ 経常利益 (百万円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



■ セグメント別売上高



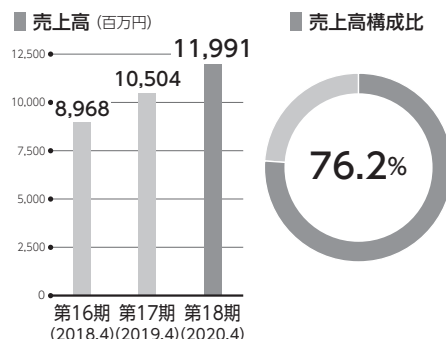


## 〈物販事業〉

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム＋法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および海外営業拠点を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

当連結会計年度におきましては、ECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することで、EC経由売上高のさらなる拡大を目指してまいりました。「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由の売上高は物販事業売上高の約4分の3を占めており、当社の最も重要な販売経路となっております。特にスマートフォン専用ECサイトやスマートフォンアプリ「BGスマート発注」経由による受注が増加しております。また商品ラインアップの拡充にも努め、ヘア化粧品メーカー様との取引口座拡充などにより取り扱い販売商品数を大幅に増やしてまいりました。その一方で、NB比率および化粧品・材料比率の増加に伴い、売上総利益率はやや低下傾向となりました。

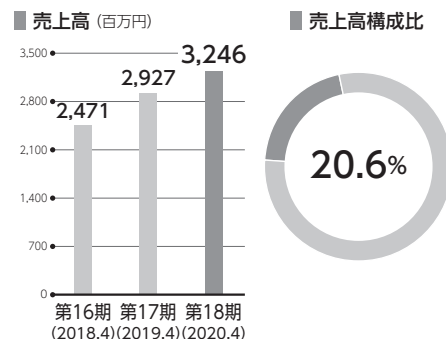
この結果、EC売上高が前年同期比20.8%増（物販売上構成比76.4%）、化粧品・材料売上高が前年同期比23.4%増（物販売上構成比48.4%）と伸長し、物販事業全体としての売上高は11,991,750千円（前年同期比14.2%増）、セグメント利益は611,794千円（前年同期比19.2%増）となりました。



## 〈店舗設計事業〉

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

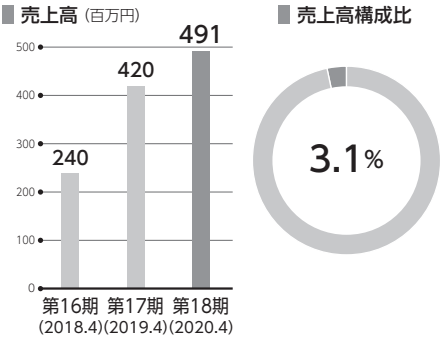
トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ていることから、設計士やデザイナーの増員を行い積極的な営業活動を行った結果、新規開業顧客に加えて大手チェーン店本部からの受注が増加しました。この結果、当事業の売上高は3,246,605千円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は190,755千円（前年同期比34.3%増）となりました。



## 〈その他周辺ソリューション事業〉

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュース、居抜き物件仲介、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。当該事業は、単体での収益化以上に当社グループの主力事業である物販事業や店舗設計事業への入口、繋ぎ役としての役割に重きを置くようになっております。

当連結会計年度におきましては、理美容室・エステ・ネイル・アイラッシュサロン向けの居抜き物件に特化した「サロン不動産ネット」の全面刷新も行いました。各種サービスのうち、開業サービス、店舗リース、講習・アカデミーのソリューションサービスが堅調に伸長したことにより、当事業の売上高は491,938千円（前年同期比17.0%増）、セグメント利益は45,576千円（前年同期比106.8%増）となっております。



## セグメント別売上高

(単位：千円)

|                | 第17期<br>2018年 5 月 1 日から<br>2019年 4 月30日まで |       | 第18期<br>2019年 5 月 1 日から<br>2020年 4 月30日まで |       | 前期比<br>増減額<br>(△は減) | 前期比<br>増減率<br>(△は減) |
|----------------|-------------------------------------------|-------|-------------------------------------------|-------|---------------------|---------------------|
|                | 売上高                                       | 構成比   | 売上高                                       | 構成比   |                     |                     |
| 物販事業           | 10,504,508                                | 75.8% | 11,991,750                                | 76.2% | 1,487,242           | 14.2%               |
| 店舗設計事業         | 2,927,157                                 | 21.1  | 3,246,605                                 | 20.6  | 319,447             | 10.9                |
| その他周辺ソリューション事業 | 420,435                                   | 3.0   | 491,938                                   | 3.1   | 71,503              | 17.0                |
| 合 計            | 13,852,101                                | 100.0 | 15,730,294                                | 100.0 | 1,878,193           | 13.6                |

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。また、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 設備投資の状況

当連結会計年度において実施した設備投資の総額は137,709千円であり、その主な内容は物流センターの設備増強に伴う費用であります。

## (3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

## (4) 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当事項はありません。

## (5) 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

## (6) 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

## (7) 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

該当事項はありません。

## （８）対処すべき課題

当社は、「美容業界を変える」というスローガンと、「美容業界に新しい価値を創造し、サロンビジネスの繁栄に貢献する」という使命のもと、以下の課題に取り組んでまいります。

### ①ECサイトのさらなる進化・改善

当社は、BtoB美容業界向けECプラットフォームとして、早期に国内で圧倒的NO.1の地位を確立することを目指しております。今後、競合の増加が見込まれる中、ECサイトにおけるUI/UXの一層の進化を行うことで、ロイヤル顧客の拡大と一顧客あたりの年間ご利用額の増加を目指してまいります。

### ②化粧品・材料メーカー様との取引口座開設の推進

サロン様にとって「欲しいものが何でも揃う」という商品ラインナップの拡充が、業容拡大に向けて最も重要な課題の一つであると認識しております。旧来型の商慣行の影響から、当社ではいまだ取扱販売の出来ない有名化粧品ブランドがいくつもございます。地道な営業活動と、当社ビジネスの本質の理解促進を図る事によって信頼を獲得し、化粧品・材料メーカー様との口座開設を推進してまいります。

### ③物流サービスの強化

美容業界の商材流通においては、物流サービスの強化が市場シェア獲得のために大変有効であると考えております。当社では千葉県柏市において6,200坪の物流センターを自社で運営しておりますが、物流センターのキャパシティ拡大、顧客の利便性向上、災害時等のリスクマネジメントの観点から第2物流センターの開設を目指してまいります。

### ④海外事業の早期収益化

当社は、ASEAN地域（シンガポール、マレーシア）および台湾へ進出し、現地法人にて既に営業を開始しております。当面は営業体制強化と認知拡大と理解促進のためのプロモーション等の積極投資が先行しますが、出来るだけ早い段階で事業を軌道に乗せて、海外事業としての収益化を実現していく事が重要であると認識しております。

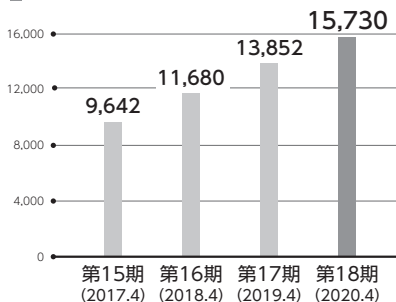
## (9) 財産及び損益の状況の推移

| 区 分                      | 第15期<br>2017年4月期 | 第16期<br>2018年4月期 | 第17期<br>2019年4月期 | 第18期<br>(当連結会計年度)<br>2020年4月期 |
|--------------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------------------|
| 売上高 (千円)                 | 9,642,103        | 11,680,469       | 13,852,101       | 15,730,294                    |
| 経常利益 (千円)                | 534,877          | 653,096          | 646,544          | 747,337                       |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 (千円) | 314,506          | 449,588          | 380,881          | 408,002                       |
| 1株当たり当期純利益 (円)           | 53.02            | 75.11            | 59.80            | 64.48                         |
| 総資産 (千円)                 | 4,144,218        | 6,076,194        | 6,827,362        | 7,283,425                     |
| 純資産 (千円)                 | 2,054,043        | 3,116,572        | 3,810,358        | 4,102,606                     |
| 1株当たり純資産 (円)             | 339.18           | 495.60           | 587.21           | 629.36                        |

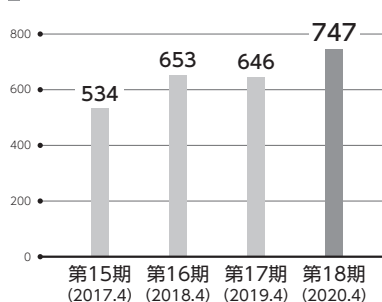
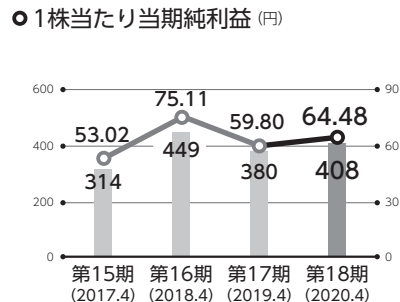
(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数にもとづき算出しております。

2. 1株当たり純資産は期末発行済株式総数にもとづき算出しております。

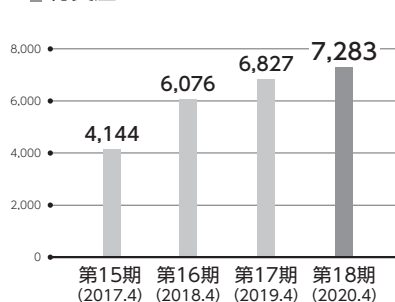
■ 売上高 (百万円)



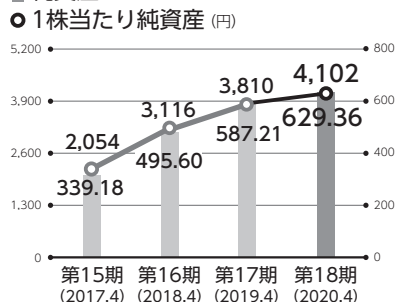
■ 経常利益 (百万円)

■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)  
○ 1株当たり当期純利益 (円)

■ 総資産 (百万円)



■ 純資産 (百万円)



## (10) 重要な親会社及び子会社の状況

### 重要な子会社の状況

| 社 名                              | 資本金        | 議決権比率                 | 主要な事業内容                         |
|----------------------------------|------------|-----------------------|---------------------------------|
| (株)タフデザインプロダクト                   | 5,000千円    | 100.0%                | 店舗設計デザイン、工事施工監理                 |
| (株)アイラッシュガレージ                    | 46,000千円   | 78.8%                 | プロ向けアイラッシュ（まつ毛エクステンション）商材専門卸販売業 |
| (株)BGパートナーズ                      | 80,300千円   | 81.0%<br>(18.7%) ※1   | 美容サロンの店舗リース・転貸・設備リース事業、経営支援事業   |
| (株)足立製作所                         | 10,000千円   | 100.0%<br>(100.0%) ※1 | 金属製器具・用品の製造販売                   |
| (株)BGベンチャーズ                      | 20,000千円   | 100.0%                | 投資業                             |
| BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE.LTD. | 3,190千SGD  | 95.9%                 | 美容商材卸販売業                        |
| BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN.BHD.  | 2,143千RM   | 95.9%<br>(100.0%) ※2  | 美容商材卸販売業                        |
| BEAUTY GARAGE TAIWAN Inc.        | 47,190千TWD | 65.0%                 | 美容商材卸販売業                        |

(注) 1. 議決権比率欄の（ ）内は、(株)タフデザインプロダクトが所有する株式の議決権比率を表示しております。

2. 議決権比率欄の（ ）内は、BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE.LTD.が所有する株式の議決権比率を表示しております。

## (11) 主要な事業内容（2020年4月30日現在）

当社は、理美容室・エステサロン等のビューティサロンに対し、プロ向け美容器具・機器・化粧品等をインターネットや店舗、カタログを通じて販売する物販事業を中心としてビューティサロンの開業準備から開業後の経営に関わる各種サービスを提供する周辺ソリューション事業を展開しております。

主な周辺ソリューション事業として「サロン専門不動産」、「開業プロデュース」、「集客支援」、「システム導入サポート」等を当社が提供しております。

また、子会社である(株)タフデザインプロダクトが「店舗設計・工事施工監理」、(株)アイラッシュガレージがプロ向けアイラッシュ（まつ毛エクステンション）商材卸販売、(株)BGパートナーズが美容サロンの店舗リース・転貸・設備リース事業、経営支援事業、M&A仲介サービス、(株)足立製作所が金属製器具・用品の製造販売を提供し、海外子会社であるBEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE. LTD.はシンガポール、BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN.BHD.はマレーシア、BEAUTY GARAGE TAIWAN Inc.は台湾における美容商材卸販売を展開しております。

当社の主要顧客は既存ならびに新規開業を目指すサロンオーナーであります。



**(12) 主要な事業所** (2020年4月30日現在)**① 当 社**

本 社：東京都世田谷区桜新町 1-34-25  
 支 社 及 び 支 店：大阪支社（大阪府大阪市）、札幌支店（北海道札幌市）  
 仙台支店（宮城県仙台市）、名古屋支店（愛知県名古屋市）  
 金沢支店（石川県金沢市）、広島支店（広島県広島市）  
 福岡支店（福岡県福岡市）  
 物 流 セ ン タ ー：柏（千葉県柏市）  
 駐 在 オ フ ィ ス：広州（中華人民共和国）

**② 子会社**

(株)タフデザインプロダクト（本社：東京都世田谷区）  
 (株)アイラッシュガレージ（本社：東京都世田谷区）  
 (株)BGパートナーズ（本社：東京都世田谷区）  
 (株)足立製作所（本社：新潟県新潟市）  
 (株)BGベンチャーズ（本社：東京都世田谷区）  
 BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE.LTD.（シンガポール）  
 BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN.BHD.（マレーシア）  
 BEAUTY GARAGE TAIWAN Inc.(台湾)

**(13) 従業員の状況** (2020年4月30日現在)**① 企業集団の従業員数**

| 従業員数 | 前期末比増減 |
|------|--------|
| 263名 | 11名増   |

（注）従業員数は、就業人員であります。

**② 当社の従業員数**

| 従業員数 | 前期末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|------|--------|-------|--------|
| 170名 | 4名増    | 37.0歳 | 5.2年   |

（注）従業員数は、就業人員であります。

**(14) 主要な借入先の状況** (2020年4月30日現在)

| 借入先               | 借入残高      |
|-------------------|-----------|
| (株) 三 井 住 友 銀 行   | 365,356千円 |
| (株) 三 菱 U F J 銀 行 | 296,711千円 |

**(15) その他企業集団の現況に関する重要な事項**

該当事項はありません。

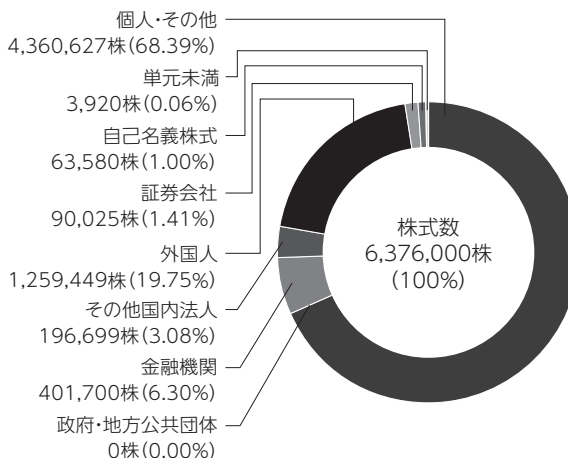
## 2 会社の状況 (2020年4月30日現在)

- (1) 発行可能株式総数 21,160,000株  
 (2) 発行済株式の総数 6,376,000株  
 (3) 株主数 3,687名  
 (4) 大株主 (上位10名)

| 株主名                                | 持株数        | 持株比率   |
|------------------------------------|------------|--------|
| 野村 秀輝                              | 1,700,000株 | 26.93% |
| 供田 修一                              | 711,597株   | 11.27% |
| GOLDMAN,SACHS&CO.REG               | 444,200株   | 7.04%  |
| NORTHERN TRUST CO.(AVFC)           | 332,300株   | 5.26%  |
| 高橋 慧                               | 292,000株   | 4.63%  |
| 野村 貴久                              | 291,050株   | 4.61%  |
| 樺島 義明                              | 250,697株   | 3.97%  |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040 | 169,100株   | 2.68%  |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)           | 108,500株   | 1.72%  |
| 株式会社ブライتكapital                    | 107,735株   | 1.71%  |

(注) 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

### 所有者別株式分布状況



## 3 会社の新株予約権等に関する事項

- (1) 当事業年度の末日において当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権の状況

該当事項はありません。

- (2) その他新株予約権等に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 4 会社役員の状況

### (1) 取締役の状況 (2020年4月30日現在)

| 会社における地位                       | 氏 名                           | 担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代 表 取 締 役 CEO                  | の 野 むら ひで き 輝                 | 経営全般<br>(株)アイラッシュガレージ 取締役<br>(株)BGパートナーズ 取締役<br>BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE.LTD.<br>Director<br>BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN.BHD.<br>Director<br>BEAUTY GARAGE TAIWAN Inc. 董事<br>(株)BGベンチャーズ 代表取締役 |
| 代 表 取 締 役 COO                  | とも だ しゅう いち 供 田 修 一           | ソリューショングループ統括<br>(株)タフデザインプロダクト 取締役<br>BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE.LTD.<br>Director                                                                                                              |
| 取 締 役                          | の 野 むら たか ひさ 輝 村 貴 久          | (株)タフデザインプロダクト 代表取締役<br>(株)足立製作所 代表取締役                                                                                                                                                           |
| 取 締 役                          | かば しま よし あき 樺 島 義 明           | (株)BGパートナーズ 代表取締役                                                                                                                                                                                |
| 取 締 役                          | か とう きよし 加 藤 清                | マーチャンダイジンググループ統括責任者                                                                                                                                                                              |
| 取 締 役<br>(常 勤 監 査 等 委 員)<br>社外 | おん だ ひで お (注1.2.4) 恩 田 英 夫    | (株)タフデザインプロダクト 監査役<br>(株)アイラッシュガレージ 監査役                                                                                                                                                          |
| 取 締 役<br>(監 査 等 委 員)<br>社外     | お 緒 だ い すけ (注1.2) 緒 方 大 助     | (株)BGパートナーズ 監査役<br>(株)足立製作所 監査役<br>(株)マイスタヴェルク・ホールディングス 取締役<br>キャロット&ベジタブル(株) 取締役                                                                                                                |
| 取 締 役<br>(監 査 等 委 員)<br>社外     | うち だ く み こ (注1.2.3) 内 田 久 美 子 | 和田倉門法律事務所 パートナー弁護士<br>(株)ミサワ 社外取締役(監査等委員)<br>(株)トレジャー・ファクトリー 社外取締役<br>(株)インタートレード 社外監査役<br>ピクスタ(株) 社外取締役(監査等委員)                                                                                  |

- (注) 1. 取締役恩田英夫氏、緒方大助氏、内田久美子氏は社外取締役であります。
2. 取締役恩田英夫氏、緒方大助氏、内田久美子氏につきましては、東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。
3. 取締役内田久美子氏は、弁護士として豊富な経験と幅広い見識を有しております。
4. 監査等委員会の実効性を高めるため、恩田英夫氏を常勤の監査等委員として選定することで、情報収集その他監査・監督機能を強化しております。

## (2) 取締役の報酬等

【当社の役員報酬に関する基本的な考え方】

優秀な人材を経営者として登用・確保し、役員の職務遂行が企業価値の最大化につながることを目的に、「透明性」、「公正性」及び「合理性」の高い報酬体系としております。役員報酬における「透明性」、「公正性」及び「合理性」を担保するため、役員報酬の制度構築・運用・水準等については、取締役会にて検討・合議を経て決議することとしております。

| 区 分                     | 支給人員        | 報酬等の額                    |
|-------------------------|-------------|--------------------------|
| 取締役（監査等委員を除く）           | 5名          | 102,360千円                |
| 取締役（監査等委員）<br>（うち社外取締役） | 3名<br>（ 3名） | 13,230千円<br>（ 13,230千円）  |
| 合 計<br>（うち社外役員）         | 8名<br>（ 3名） | 115,590千円<br>（ 13,230千円） |

- (注) 1. 上記のほかに当社子会社から報酬等の総額として取締役（監査等委員）1名には360千円を支払っております。  
2. 2016年7月27日定時株主総会決議による取締役（監査等委員を除く）の報酬限度額は年額16,000万円以内です。  
3. 2016年7月27日定時株主総会決議による取締役（監査等委員）の報酬限度額は年額2,000万円以内です。

## (3) 社外役員に関する事項

### ① 重要な兼職先と当社との関係

| 区 分   | 氏 名                     | 兼職先                                                               | 兼職の内容                                                              | 当該他の法人等との関係                                                                                              |
|-------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役 | おん だ ひで お<br>恩 田 英 夫    | (株)タフデザインプロダクト<br>(株)アイラッシュガレージ                                   | 監 査 役<br>監 査 役                                                     | (株)タフデザインプロダクトは当社の100%連結子会社、(株)アイラッシュガレージは当社の連結子会社です。                                                    |
| 社外取締役 | お が た だい すけ<br>緒 方 大 助  | (株)BGパートナーズ<br>(株)足立製作所<br>(株)マイスタヴェルク・ホールディングス<br>キャロット&ベジタブル(株) | 監 査 役<br>監 査 役<br>取 締 役<br>取 締 役                                   | (株)BGパートナーズは当社の連結子会社、(株)足立製作所は当社の連結孫会社です。また、当社と(株)マイスタヴェルク・ホールディングス、キャロット&ベジタブル(株)との間に重要な取引その他の関係はありません。 |
| 社外取締役 | うち だ く み こ<br>内 田 久 美 子 | 和田倉門法律事務所<br>(株)ミサワ<br>(株)トレジャー・ファクトリー<br>(株)インタートレード<br>ピクスタ(株)  | パートナー弁護士<br>社外取締役（監査等委員）<br>社 外 取 締 役<br>社 外 監 査 役<br>社外取締役（監査等委員） | 当社と和田倉門法律事務所、(株)ミサワ、(株)トレジャー・ファクトリー、(株)インタートレード、ピクスタ(株)との間に重要な取引その他の関係はありません。                            |

## ② 当事業年度における主な活動状況

| 区 分                  | 氏 名                     | 主な活動状況                       | 発言状況                                                                                                        |
|----------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役<br>(監査等委員)<br>社外 | おん だ ひで お<br>恩 田 英 夫    | 取締役会 19/19回<br>監査等委員会 12/12回 | 主に出身分野である金融機関を通じて培った知識・見地から適宜質問、意見表明等の発言を行っています。また常勤の取締役(監査等委員)として重要な業務執行に係る会議に出席するほか取締役の職務執行の適正性を検証しております。 |
| 取締役<br>(監査等委員)<br>社外 | お がた だい すけ<br>緒 方 大 助   | 取締役会 19/19回<br>監査等委員会 12/12回 | 上場会社の経営者として培った知識・見地から適宜質問、意見表明等の発言を行っています。                                                                  |
| 取締役<br>(監査等委員)<br>社外 | うち だ く み こ<br>内 田 久 美 子 | 取締役会 19/19回<br>監査等委員会 12/12回 | 主に弁護士としての専門的知識・見地から適宜質問、意見表明等の発言を行っています。                                                                    |

## ③ 責任限定契約の内容の概要

当社と社外取締役は、会社法第427条第1項及び当社定款第24条第2項に基づき責任限定契約を締結しております。その契約内容の概要は次のとおりです。

社外取締役が任務を怠ったことによって当社に責任を負う場合は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として、その責任を負う。

この責任限定契約が認められるのは、社外取締役がその責任の原因となった職務の遂行について善意でかつ重大な過失がないときに限るものとする。

## 5 会計監査人の状況

### (1) 会計監査人の名称

有限責任監査法人トーマツ

### (2) 報酬等の額

|                                 | 支払額      |
|---------------------------------|----------|
| 当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額          | 25,000千円 |
| 当社及び当社子会社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 28,900千円 |

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できないため、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査等委員会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務執行状況及び報酬見積りの算出根拠等が適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

### (3) 非監査業務の内容

当社は会計監査人に対して、公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務（非監査業務）である「収益認識基準に関する会計基準の適用による会計方針の検討に関する助言・指導業務」を委託し、その対価を支払っています。

### (4) 会計監査人の解任又は不再任の決定方針

監査等委員会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、監査等委員会の決議を経て、会計監査人の解任又は不再任を株主総会の会議の目的とすることといたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査等委員全員の同意に基づき、監査等委員会が会計監査人を解任いたします。この場合、監査等委員会が選定した監査等委員は、解任後最初に招集される株主総会において、解任の旨及びその理由を報告いたします。

## 6 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

### (1) 業務の適正を確保するための体制

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他会社の業務の適正を確保するための体制についての決定内容の概要は以下のとおりです。

#### ①当社及び子会社の取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- イ) 取締役会は、法令遵守体制の確保に関連する規程・マニュアル類を整備し周知徹底するとともに、取締役・使用人とも高い倫理観をもって職務の執行にあたるように、内部統制制度を整備する。
- ロ) 監査等委員会は監査等委員会規程に基づき、独立した立場から取締役の職務執行を監視し、その適正性を検証しており、法令、定款の違反を発見した場合は直ちに取締役会に報告し、是正措置をとることとする。
- ハ) 定期的な内部監査を通じて当社及び子会社の企業活動が法令、定款に基づき実施されていることを調査し、調査結果が代表取締役へ報告されることにより、コンプライアンス体制の有効性を検証する体制を確立し維持する。
- ニ) コンプライアンス体制の基盤整備を行い、当社及び子会社の従業員が、法令、定款、社内規程及び社会規範を順守のうえ社会的責任を果たし企業理念を実践するように、定期的な社内教育を行うなど周知徹底を図ることとする。
- ホ) コンプライアンス違反を未然に防ぎ、コンプライアンスの強化・徹底を図ることを目的として、当社及び子会社の社内（当社経営管理部門責任者、当社業務監査室責任者、当社常勤監査等委員）及び社外（弁護士）を窓口とするコンプライアンス通報窓口を設置し、使用人等が直接通報することが出来る。

#### ②取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

- イ) 取締役の職務の執行にかかる情報・文書（電磁的記録を含む）の取扱いは、文書管理規程に従い作成のうえ、適切に保存及び管理を行い、各取締役の要求があるときは、これを閲覧に供する。
- ロ) 必要な関係者は、必要に応じてこれらの文書を閲覧できるものとする。

#### ③当社及び子会社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- イ) 業務監査室を設置し、その職務機能として内部監査を定期的実施し、代表取締役へ報告することで、リスクの現実化を未然に防止する。
- ロ) 内部監査により法令、定款違反、その他の損失の危険のある業務執行が発見された場合には、その内容について、直ちに代表取締役へ報告され、また、取締役会、監査等委員会にも報告される体制を確保する。



④当社及び子会社の取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- イ) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、取締役会を月1回定時に開催するほか、必要に応じて臨時に開催し、迅速かつ適切な意思決定を行う体制を確保する。また執行役員制度を設け、取締役、子会社の代表取締役及び執行役員で構成される経営戦略会議を開催すること等により、企業統治・内部統制の充実を図る。
- ロ) 取締役会の決定に基づく業務執行については、組織規程、業務分掌規程及び職務権限規程に基づき各取締役の業務分掌及び職務権限・責任を明確化し、取締役会規程、稟議規程等の意思決定ルールに基づき適正かつ効率的な達成方法を確保する。

⑤当社及び子会社からなる企業集団における業務の適正性を確保するための体制

- イ) 当社を中心とする企業集団の業務の適正性を確保するため、子会社に対し当社の役員を取締役または監査役として派遣して子会社の業務運営を定常的に監督することとする。また、子会社の定時取締役会には必要に応じて当社の定時取締役会と同日開催とし、業務の執行状況につき定期的に報告を受けるとともに、その議題及び意思決定においても企業集団としての統制を図る。
- ロ) 各子会社の業務執行については、関係会社管理規程により経営管理部門を主幹とした損益管理、予算統制等の管理を実施する。また、内部監査担当者は監査等委員会及び会計監査人と連携しつつ社内規程に基づき子会社の内部監査を行う。

⑥監査等委員会の職務を補助すべき取締役及び使用人・その取締役及び使用人の他の取締役からの独立性並びにその使用人に対する実効性の確保に関する事項

監査等委員会より、その職務を補助すべき使用人を置くことを求められた場合には、監査等委員会と協議の上、適切な人材を配置し、取締役（監査等委員を除く）からの独立性を確保するものとする。

⑦当社及び子会社の取締役及び使用人が監査等委員会に報告するための体制、その他の監査等委員会への報告に関する体制

- イ) 当社及び子会社の取締役及び使用人は、職務執行に関して重大な法令、定款違反行為もしくは不正行為の事実または当社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実を確認した場合は、代表取締役への報告と同時に、監査等委員会に報告しなければならない。
- ロ) 監査等委員は取締役会等の重要な会議に出席し、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況の把握を行う。監査等委員会は必要に応じて、取締役及び使用人に対して報告を求めることができる。

⑧監査等委員会に報告した者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制

当社及び子会社は、「コンプライアンス・リスク管理規程」に基づき前号の報告又は内部通報をした者に対して、当該報告又は当該内部通報を理由として不利な取扱いを行わない。

⑨監査等委員の職務執行について生ずる費用の前払い又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項

監査等委員の職務の執行について生じた費用等は、職務の執行に必要でないと証明できる場合を除き、速やかに処理を行う。

⑩その他監査等委員会の監査が実効的に行われることを確保するための体制

イ) 代表取締役は、監査等委員会と可能な限り会合を持ち、監査等委員会監査の状況、監査上の重要課題等の報告とは別に会社運営に関する意見交換を行うなど、意思疎通を図る。

ロ) 監査等委員会は、内部監査と連携して入手情報を共有化し、適切な意思疎通及び効果的な監査業務の遂行を図る。また、必要に応じて内部監査に対して調査を求めることができる。

ハ) 取締役は、業務執行の適正を確保するうえで、重要な業務執行に関わる会議への監査等委員の出席を確保する。

## (2) 業務の適正を確保するための体制の運用状況

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他会社の業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要は以下のとおりであります。

### ①内部統制システム全般

業務監査室が、当社及び当社グループ子会社の業務監査と内部統制監査を通して内部統制システム全般の整備・運用状況を評価し、改善を進めております。

### ②コンプライアンス

当社は、法令遵守意識の浸透を図り、コンプライアンス違反行為発生の防止策を行うとともに、万が一発生した場合に備え、外部弁護士へ直接通報が可能な当社グループ各社共通の通報窓口を設置し、その旨を役職員に周知しております。

### ③取締役の職務執行

取締役会は、取締役（監査等委員を除く）5名及び取締役（監査等委員）3名（3名ともに社外取締役）で構成されており、「取締役会規程」に基づき原則月1回開催され、法令または定款に定められた事項及び経営上重要な事項の審議・決議を行うとともに、各取締役の職務執行を監督しております。

## ④監査等委員会

監査等委員会は、「監査等委員会規程」に基づき原則月1回開催され、法令等に定められた事項の決議を行うとともに、業務執行取締役から担当業務の現状等について直接聴取を行っております。また、常勤監査等委員は、社内の重要会議に出席するなど日常業務レベルで経営情報を収集し、監査等委員会に報告しております。さらに、会計監査人、業務監査室と適宜情報交換を行い、監査の実効性を確保しております。

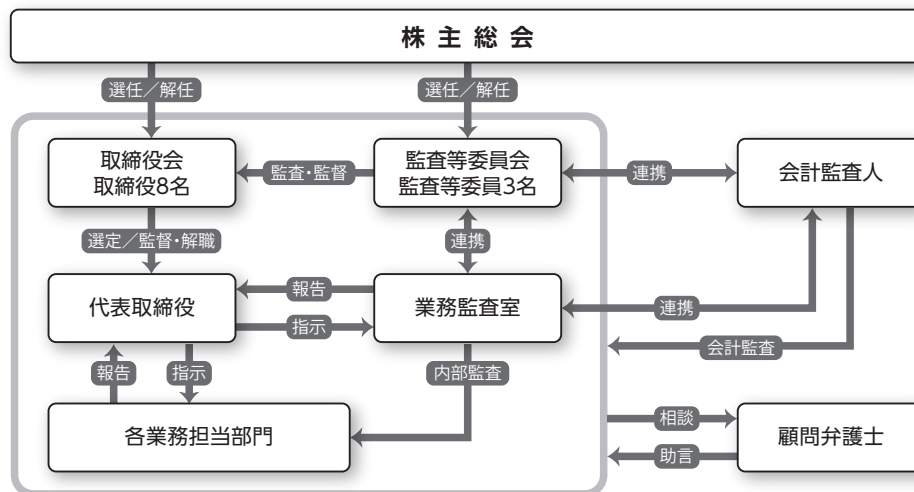
## 7 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題として認識しておりますが、未だ成長過程にある現時点においては、今後も積極的な投資を継続することで事業規模拡大を実現し企業価値を高めて行くことが最大の株主還元になるものと考えております。

一方、直接的な株主還元策としての配当については、業績に裏付けされた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、当事業年度の年間配当金は1株につき10.0円とさせていただきます。

### コーポレート・ガバナンス図



# 連結計算書類

## 連結貸借対照表 (2020年4月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目           | 金 額       |
|---------------|-----------|
| <b>(資産の部)</b> |           |
| 流動資産          | 6,000,291 |
| 現金及び預金        | 2,212,210 |
| 受取手形及び売掛金     | 1,067,317 |
| 営業投資有価証券      | 154,521   |
| 商品及び製品        | 1,756,880 |
| 仕掛品           | 111,734   |
| 前渡金           | 297,590   |
| その他           | 408,300   |
| 貸倒引当金         | △ 8,265   |
| 固定資産          | 1,283,134 |
| 有形固定資産        | 299,585   |
| 建物            | 159,903   |
| 機械及び装置        | 40,312    |
| 車両運搬具         | 1,749     |
| 工具器具備品        | 54,971    |
| リース資産         | 4,547     |
| 土地            | 38,099    |
| 無形固定資産        | 370,165   |
| ソフトウエア        | 271,962   |
| のれん           | 94,396    |
| その他           | 3,806     |
| 投資その他の資産      | 613,383   |
| 投資有価証券        | 103,060   |
| 繰延税金資産        | 128,023   |
| 敷金保証金         | 341,456   |
| その他           | 40,843    |
| 資産合計          | 7,283,425 |

| 科 目            | 金 額       |
|----------------|-----------|
| <b>(負債の部)</b>  |           |
| 流動負債           | 2,548,707 |
| 支払手形及び買掛金      | 1,176,474 |
| 短期借入金          | 15,000    |
| 1年内返済予定の長期借入金  | 283,316   |
| 未払金            | 188,925   |
| 未払法人税等         | 192,241   |
| 前受金            | 187,747   |
| 賞与引当金          | 57,748    |
| 製品保証引当金        | 8,052     |
| 受注損失引当金        | 7,116     |
| 株主優待引当金        | 3,300     |
| 株式報酬引当金        | 20,149    |
| その他            | 408,636   |
| 固定負債           | 632,112   |
| 長期借入金          | 429,744   |
| 退職給付に係る負債      | 7,989     |
| ポイント引当金        | 88,061    |
| 資産除去債務         | 44,907    |
| その他            | 61,409    |
| 負債合計           | 3,180,819 |
| <b>(純資産の部)</b> |           |
| 株主資本           | 3,993,634 |
| 資本金            | 768,385   |
| 資本剰余金          | 713,929   |
| 利益剰余金          | 2,609,227 |
| 自己株式           | △97,907   |
| その他の包括利益累計額    | △20,825   |
| 為替換算調整勘定       | -20,825   |
| 非支配株主持分        | 129,797   |
| 純資産合計          | 4,102,606 |
| 負債純資産合計        | 7,283,425 |

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

**連結損益計算書** (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額        |         |
|-----------------|------------|---------|
| 売上高             | 15,730,294 |         |
| 売上原価            | 10,955,341 |         |
| 売上総利益           | 4,774,953  |         |
| 販売費及び一般管理費      | 4,044,914  |         |
| 営業利益            | 730,038    |         |
| 営業外収益           |            |         |
| 受取利息及び配当金       | 164        |         |
| 仕入割引            | 742        |         |
| 為替差益            | 3,077      |         |
| 受取手数料           | 3,982      |         |
| 投資有価証券売却益       | 8,144      |         |
| 固定資産売却益         | 4,298      |         |
| その他             | 4,484      | 24,894  |
| 営業外費用           |            |         |
| 支払利息            | 2,296      |         |
| 障害者雇用納付金        | 1,720      |         |
| 違約金             | 2,980      |         |
| その他             | 598        | 7,595   |
| 経常利益            | 747,337    |         |
| 特別損失            |            |         |
| 減損損失            | 32,749     | 32,749  |
| 税金等調整前当期純利益     | 714,588    |         |
| 法人税、住民税及び事業税    | 312,763    |         |
| 法人税等調整額         | △4,149     | 308,614 |
| 当期純利益           | 405,973    |         |
| 非支配株主に帰属する当期純損失 | △2,029     |         |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 408,002    |         |

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位：千円)

|                     | 株主資本        |               |           |          |           |
|---------------------|-------------|---------------|-----------|----------|-----------|
|                     | 資本金         | 資本剰余金         | 利益剰余金     | 自己株式     | 株主資本合計    |
| 当期首残高               | 768,385     | 712,345       | 2,269,475 | △351     | 3,749,854 |
| 当期変動額               |             |               |           |          |           |
| 剰余金の配当              |             |               | △57,379   |          | △57,379   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |             |               | 408,002   |          | 408,002   |
| 自己株式の取得             |             |               |           | △111,140 | △111,140  |
| 自己株式の処分             |             | 1,611         |           | 13,584   | 15,195    |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減  |             | △27           |           |          | △27       |
| 子会社の新規連結に伴う利益剰余金減少高 |             |               | △10,870   |          | △10,870   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） |             |               |           |          |           |
| 当期変動額合計             |             | 1,584         | 339,752   | △97,556  | 243,780   |
| 当期末残高               | 768,385     | 713,929       | 2,609,227 | △97,907  | 3,993,634 |
|                     | その他の包括利益累計額 |               | 新株予約権     | 非支配株主持分  | 純資産合計     |
|                     | 為替換算調整勘定    | その他の包括利益累計額合計 |           |          |           |
| 当期首残高               | △6,102      | △6,102        | 1,028     | 65,578   | 3,810,358 |
| 当期変動額               |             |               |           |          |           |
| 剰余金の配当              |             |               |           |          | △57,379   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |             |               |           |          | 408,002   |
| 自己株式の取得             |             |               |           |          | △111,140  |
| 自己株式の処分             |             |               |           |          | 15,195    |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減  |             |               |           |          | △27       |
| 子会社の新規連結に伴う利益剰余金減少高 |             |               |           |          | △10,870   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △14,723     | △14,723       | △1,028    | 64,218   | 48,467    |
| 当期変動額合計             | △14,723     | △14,723       | △1,028    | 64,218   | 292,247   |
| 当期末残高               | △20,825     | △20,825       | -         | 129,797  | 4,102,606 |

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 計算書類

## 貸借対照表 (2020年4月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額              |
|-----------------|------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                  |
| <b>流動資産</b>     | <b>3,982,226</b> |
| 現金及び預金          | 1,091,256        |
| 売掛金             | 821,764          |
| 商品              | 1,561,340        |
| 前渡金             | 296,736          |
| 前払費用            | 76,424           |
| 預け金             | 91,679           |
| その他             | 43,514           |
| 貸倒引当金           | △490             |
| <b>固定資産</b>     | <b>1,462,725</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>160,627</b>   |
| 建物              | 79,484           |
| 機械装置            | 36,399           |
| 車両運搬具           | 678              |
| 工具器具備品          | 44,065           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>238,052</b>   |
| ソフトウェア          | 235,987          |
| その他             | 2,064            |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>1,061,835</b> |
| 関係会社株式          | 435,094          |
| 関係会社出資金         | 274,135          |
| 長期前払費用          | 4,728            |
| 敷金保証金           | 199,266          |
| 繰延税金資産          | 88,984           |
| その他             | 59,625           |
| <b>資産合計</b>     | <b>5,442,742</b> |

| 科 目            | 金 額              |
|----------------|------------------|
| <b>(負債の部)</b>  |                  |
| <b>流動負債</b>    | <b>1,407,920</b> |
| 買掛金            | 502,639          |
| 1年内返済予定の長期借入金  | 273,320          |
| 未払金            | 141,551          |
| 未払費用           | 183,759          |
| 未払法人税等         | 108,923          |
| 未払消費税等         | 16,785           |
| 前受金            | 31,926           |
| 預り金            | 40,578           |
| 賞与引当金          | 40,885           |
| 製品保証引当金        | 8,052            |
| 株主優待引当金        | 3,300            |
| 株式報酬引当金        | 20,149           |
| その他            | 36,049           |
| <b>固定負債</b>    | <b>582,151</b>   |
| 長期借入金          | 388,747          |
| ポイント引当金        | 88,061           |
| 資産除去債務         | 43,537           |
| その他            | 61,806           |
| <b>負債合計</b>    | <b>1,990,071</b> |
| <b>(純資産の部)</b> |                  |
| <b>株主資本</b>    | <b>3,454,736</b> |
| 資本金            | 768,385          |
| 資本剰余金          | 721,263          |
| 資本準備金          | 719,652          |
| その他資本剰余金       | 1,611            |
| 自己株式処分差益       | 1,611            |
| <b>利益剰余金</b>   | <b>2,060,929</b> |
| その他利益剰余金       | 2,060,929        |
| 繰越利益剰余金        | 2,060,929        |
| 自己株式           | △97,907          |
| <b>純資産合計</b>   | <b>3,452,670</b> |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>5,442,742</b> |

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。



**損益計算書** (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額        |         |
|--------------|------------|---------|
| 売上高          | 11,282,758 |         |
| 売上原価         | 7,503,879  |         |
| 売上総利益        | 3,778,878  |         |
| 販売費及び一般管理費   | 3,312,236  |         |
| 営業利益         | 466,642    |         |
| 営業外収益        |            |         |
| 受取利息及び配当金    | 40,575     |         |
| 業務受託手数料      | 34,454     |         |
| その他          | 17,580     | 92,611  |
| 営業外費用        |            |         |
| 支払利息         | 666        |         |
| 障害者雇用納付金     | 1,700      |         |
| その他          | 457        | 2,823   |
| 経常利益         | 556,430    |         |
| 特別損失         |            |         |
| 関係会社株式評価損    | 167,195    | 167,195 |
| 税引前当期純利益     | 389,234    |         |
| 法人税、住民税及び事業税 | 189,225    |         |
| 法人税等調整額      | △3,556     | 185,669 |
| 当期純利益        | 203,565    |         |

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位：千円)

|                         | 株主資本    |         |              |             |              |             |          |            | 新株予約権  | 純資産合計     |
|-------------------------|---------|---------|--------------|-------------|--------------|-------------|----------|------------|--------|-----------|
|                         | 資本金     | 資本剰余金   |              |             | 利益剰余金        |             | 自己株式     | 株主資本<br>合計 |        |           |
|                         |         | 資本準備金   | その他<br>資本剰余金 | 資本剰余金<br>合計 | その他<br>利益剰余金 | 利益剰余金<br>合計 |          |            |        |           |
|                         |         |         | 自己株式<br>処分差益 |             | 繰越利益<br>剰余金  |             |          |            |        |           |
| 当期首残高                   | 768,385 | 719,652 | -            | 719,652     | 1,914,743    | 1,914,743   | △351     | 3,402,429  | 1,028  | 3,403,457 |
| 当期変動額                   |         |         |              |             |              |             |          |            |        |           |
| 剰余金の配当                  |         |         |              |             | △57,379      | △57,379     |          | △57,379    |        | △57,379   |
| 当期純利益                   |         |         |              |             | 203,565      | 203,565     |          | 203,565    |        | 203,565   |
| 自己株式の取得                 |         |         |              |             |              |             | △111,140 | △111,140   |        | △111,140  |
| 自己株式の処分                 |         |         | 1,611        | 1,611       |              |             | 13,584   | 15,195     |        | 15,195    |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額（純額） |         |         |              |             |              |             |          |            | △1,028 | △1,028    |
| 当期変動額合計                 | -       | -       | 1,611        | 1,611       | 146,185      | 146,185     | △97,556  | 50,240     | △1,028 | 49,212    |
| 当期末残高                   | 768,385 | 719,652 | 1,611        | 721,263     | 2,060,929    | 2,060,929   | △97,907  | 3,452,670  | -      | 3,452,670 |

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 監査報告書

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書謄本

## 独立監査人の監査報告書

2020年6月26日

株式会社 ビューティガレージ  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ  
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 中 塚 亨 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 中 山 太 一 ㊞  
業務執行社員

### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社ビューティガレージの2019年5月1日から2020年4月30日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ビューティガレージ及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 連結計算書類に対する経営者並びに監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

## 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 会計監査人の監査報告書謄本

独立監査人の監査報告書

2020年6月26日

株式会社 ビューティガレージ  
取締役会 御中有限責任監査法人 トーマツ  
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 中 塚 亨 ㊞  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 中 山 太 一 ㊞  
業務執行社員

## 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ビューティガレージの2019年5月1日から2020年4月30日までの第18期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 計算書類等に対する経営者並びに監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査等委員会の監査報告書謄本

## 監査報告書

当監査等委員会は、2019年5月1日から2020年4月30日までの第18期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施しました。

- ① 監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部統制部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査しました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
- ② 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

## (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項はありません。

## (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

## (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2020年6月29日

株式会社ビューティガレージ 監査等委員会

監査等委員 恩 田 英 夫 ㊞

監査等委員 緒 方 大 助 ㊞

監査等委員 内 田 久美子 ㊞

(注) 監査等委員全員は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以 上



# 株主総会参考書類

## 議案及び参考書類

### 第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）5名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除きます。以下、本議案について同じです。）全員（5名）は本定時株主総会終結の時をもって任期満了となりますので、取締役5名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては監査等委員会から審議の結果、相当である旨の意見表明を受けております。取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                     | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 所有する<br>当社の株式数 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1         | <br>の む ら ひ で き<br>野村 秀輝<br>(1967年5月22日生)<br>再任 | <p>1990年 4 月 中央宣興(株)入社<br/>2001年 1 月 (株)マッキンゼーエリクソン入社<br/>2003年 1 月 (株)WASABI (現(株)BGナビ) 設立 代<br/>表取締役<br/>2003年 4 月 当社設立 代表取締役CEO (現任)<br/>2005年 4 月 (株)BGナビ 取締役<br/>2013年 5 月 (株)サロンキャリア 取締役<br/>2014年11月 (株)アイラッシュガレージ 取締役 (現<br/>任)<br/>2017年 7 月 (株)BGパートナーズ取締役 (現任)<br/>2017年12月 BEAUTY GARAGE SINGAPORE<br/>PTE.LTD. Director (現任)<br/>2018年 3 月 BEAUTY GARAGE MALAYSIA<br/>SDN.BHD. Director (現任)<br/>2018年11月 BEAUTY GARAGE TAIWAN Inc.<br/>董事<br/>(現任)<br/>2018年12月 (株)BGベンチャーズ代表取締役 (現任)<br/>(重要な兼職状況)<br/>(株)BGベンチャーズ代表取締役<br/>(株)アイラッシュガレージ取締役<br/>(株)BGパートナーズ取締役<br/>BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE.LTD.Director<br/>BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN.BHD.Director<br/>BEAUTY GARAGE TAIWAN Inc.董事</p> <p>●取締役候補者とした理由<br/>野村秀輝氏は、2003年から当社の代表取締役を務め、当社グループの<br/>経営全般を統括しており、豊富な経験・知見等を有しております。以上の<br/>ことから引き続き取締役候補者いたしました。</p> <p>(特別の利害関係)<br/>野村秀輝氏と当社との間に特別の利害関係はありません。</p> | 1,700,000株     |



| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                 | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 所有する<br>当社の株式数 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 2         |  <p>とも だ しゅういち<br/>供田 修一<br/>(1969年10月7日生)</p> <div>再任</div> | <p>1989年 3 月 ヘアー&amp;メイクSNIP入社<br/> 1990年11月 (株)創美堂入社<br/> 1993年 8 月 (有)ドラゴンキッズ入社<br/> 1999年 2 月 (有)シュウワークプロダクツ設立 代表取締役<br/> 2001年 3 月 (有)タフデザインプロダクト<br/> (現(株)タフデザインプロダクト) 取締役<br/> 2003年 4 月 当社設立 代表取締役COO (現任)<br/> 2005年 4 月 (株)BGナビ 取締役<br/> 2013年 5 月 (株)サロンキャリア 取締役<br/> 2016年 8 月 (株)サロンキャリア 代表取締役<br/> 2017年 7 月 (株)タフデザインプロダクト取締役 (現任)<br/> 2017年12月 BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE.LTD. Director (現任)</p> <p>(重要な兼職状況)<br/> (株)タフデザインプロダクト取締役<br/> (株)BGベンチャーズ取締役<br/> BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE.LTD. Director</p> <p>●取締役候補者とした理由<br/> 供田修一氏は、2003年から当社の代表取締役を務め、当社ソリューショングループ、ブランド推進室、コンシェルジュ室担当の取締役として業務を執行しており、豊富な経験・知見等を有しております。以上のことから引き続き取締役候補者いたしました。</p> <p>(特別の利害関係)<br/> 供田修一氏と当社との間に特別の利害関係はありません。</p> | 711,597株       |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                         | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 所有する<br>当社の株式数 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3         | <br><div>の む ら た か ひ さ</div> <div>野村 貴久</div> <div>(1972年6月28日生)</div> <div>再任</div> | <p>1993年 4 月 ヨシダ宣伝(株)入社<br/>2001年 3 月 (有)タフデザインプロダクト (現(株)タフデザインプロダクト) 設立 代表取締役 (現任)<br/>2003年 1 月 (株)WASABI (現(株)BGナビ) 取締役<br/>2003年 4 月 当社取締役 (現任)<br/>2017年11月 (株)足立製作所 代表取締役 (現任)</p> <p>(重要な兼職状況)<br/>(株)タフデザインプロダクト 代表取締役<br/>(株)足立製作所 代表取締役</p> <p>●取締役候補者とした理由<br/>野村貴久氏は、2003年から当社の取締役を務め、(株)タフデザインプロダクトおよび(株)足立製作所の代表取締役として業務を執行しており、豊富な経験・知見等を有しております。以上のことから引き続き取締役候補者といたしました。</p> <p>(特別の利害関係)<br/>野村貴久氏と当社との間に特別の利害関係はありません。</p> | 291,050株       |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                               | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 所有する<br>当社の株式数 |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 4         | <div data-bbox="305 402 498 628"></div> <div data-bbox="284 642 518 763"> <small>かば しま      よし あき</small><br/> <b>樺島 義明</b><br/>                     (1974年1月7日生)<br/> <div>再任</div> </div> | <div data-bbox="556 278 1134 477">                         1997年4月 中央宣興(株)入社<br/>                         2003年4月 (株)WASABI (現(株)BGナビ) 入社<br/>                         2003年6月 当社取締役 (現任)<br/>                         2007年4月 (株)タフデザインプロダクト 取締役<br/>                         2017年1月 (株)BGパートナーズ 代表取締役 (現任)                     </div> <div data-bbox="556 492 904 556">                         (重要な兼職状況)<br/>                         (株)BGパートナーズ 代表取締役                     </div> <div data-bbox="556 571 1353 707"> <p>●取締役候補者とした理由</p> <p>樺島義明氏は、2003年から当社の取締役を務め、(株)BGパートナーズの代表取締役として業務を執行しており、豊富な経験・知見等を有しております。以上のことから引き続き取締役候補者といたしました。</p> </div> <div data-bbox="556 789 1158 889"> <p>(特別の利害関係)</p> <p>樺島義明氏と当社との間に特別の利害関係はありません。</p> </div> | 250,697株       |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 所有する<br>当社の株式数 |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 5         | <br><div>かとうきよし</div> <div>加藤 清</div> <div>(1967年2月9日生)</div> <div>再任</div> | <p>1989年 4 月 (有)スズキフロリスト入社<br/>1991年 4 月 (株)エムカンパニー（現(株)ジークス）入<br/>社<br/>2003年11月 当社入社<br/>2009年 2 月 当社執行役員<br/>2018年 7 月 当社取締役(現任)</p> <p>(重要な兼職状況)<br/>無し</p> <p>●取締役候補者とした理由<br/>加藤清氏は、2009年2月から当社の執行役員を務め、マーチャンダイ<br/>ジンググループ、購買物流グループ担当の取締役として業務を執行してお<br/>り、豊富な経験・知見等を有しております。以上のことから引き続き取締<br/>役候補者といたしました。</p> <p>(特別の利害関係)<br/>加藤清氏と当社との間に特別の利害関係はありません。</p> | 34,787株        |

## 第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

監査等委員である取締役全員（3名）は本定時株主総会終結の時をもって、任期満了となりますので、監査等委員である取締役3名の選任をお願いするものであります。なお、本議案につきましては、監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                             | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 所有する<br>当社の株式数 |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1         |  <p>おん だ ひで お<br/>恩田 英夫<br/>(1943年4月16日生)</p> <div> <div>社外</div> <div>再任</div> </div> <p>社外監査役在任年数 10年<br/>社外取締役（監査等委員）<br/>在任年数 4年</p> | <p>1968年 4 月 日興証券(株)入社<br/>2000年 6 月 (株)イー・マーケティング入社<br/>同社 取締役<br/>2001年 7 月 ジャパンメディアシステム(株)入社<br/>2002年 9 月 (株)ネオプレックス入社<br/>2003年 6 月 同社 監査役<br/>2006年 7 月 当社 監査役<br/>2007年 4 月 (株)タフデザインプロダクト 監査役<br/>(非常勤) (現任)<br/>2016年 7 月 当社 社外取締役（監査等委員）（現任）</p> <p>(重要な兼職状況)<br/>(株)タフデザインプロダクト 監査役<br/>(株)アイラッシュガレージ 監査役</p> <p>●監査等委員である社外取締役候補者とした理由<br/>恩田英夫氏は、2006年7月より当社の社外監査役、2016年7月より当社の監査等委員である社外取締役に務め、職務を適切に遂行していただき、その豊富な経験・知見等を引き続き監査に活かしていただき、ため監査等委員である社外取締役として選任するものであります。</p> <p>(特別の利害関係)<br/>恩田英夫氏と当社との間に特別の利害関係はありません。また同氏は(株)東京証券取引所が定める独立役員要件を満たしており、独立役員として同取引所に届け出ております。</p> <p>(責任限定契約)<br/>恩田英夫氏は、当社との間で会社法第427条第1項に基づき同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令の定める額としております。同氏の再任をご承認いただいた場合、同氏は当社との間で当該契約を継続する予定であります。</p> | 14,000株        |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                               | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 所有する<br>当社の株式数 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 2         |  <p>お が た      だ い す け<br/>緒方   大 助<br/>(1960年 6 月 9 日生)</p> <div>社外</div> <div>再任</div> <p>社外取締役在任年数 5 年<br/>監査等委員である取締役<br/>在任年数 4 年</p> | <p>1986年 9 月 (株)チシマビジネスコーポレーション入社<br/>1989年 3 月 (有)ウイングコーポレーション入社<br/>1993年 2 月 キューサイ青汁(株) (現 キューサイ(株))<br/>入社<br/>2000年 1 月 環ネットワーク(株) (現 らでいっしゅ<br/>ぼーや(株)) 代表取締役社長就任<br/>2008年12月 同社をJASDAQ市場へ上場<br/>2013年 6 月 同社 会長<br/>2014年 1 月 同社 顧問<br/>2014年 1 月 (株)マイスタヴェルク (現 (株)マイスタヴェル<br/>ク・ホールディングス) 取締役 (現任)<br/>2014年 9 月 大正大学 客員教授<br/>2015年 7 月 当社 社外取締役<br/>2016年 6 月 キャロット&amp;ベジタブル(株)取締役 (現任)<br/>2016年 7 月 当社 社外取締役 (監査等委員) (現任)<br/>2017年 1 月 (株)BGパートナーズ 監査役 (現任)<br/>2017年11月 (株)足立製作所 監査役 (現任)</p> <p>(重要な兼職状況)<br/>(株)マイスタヴェルク・ホールディングス 取締役<br/>キャロット&amp;ベジタブル(株) 取締役<br/>(株)BGパートナーズ 監査役<br/>(株)足立製作所 監査役</p> <p>●監査等委員である社外取締役候補者とした理由<br/>緒方大助氏は、らでいっしゅぼーや(株)において代表取締役社長を務めた<br/>上、JASDAQ市場への上場も果たし、企業経営者としての豊富な経験と<br/>幅広い見識を活かし、2015年 7 月より当社の社外取締役、2016年 7 月<br/>より当社の監査等委員である社外取締役を務め、その豊富な経験・知見等<br/>を監査に活かしていただきたいため、引き続き監査等委員である社外取締<br/>役として選任するものであります。</p> <p>(特別の利害関係)<br/>緒方大助氏と当社との間に特別の利害関係はありません<br/>せん。また同氏は(株)東京証券取引所が定める独立役員の一<br/>要件を満たしており、独立役員として同取引所に届け出て<br/>おります。</p> <p>(責任限定契約)<br/>緒方大助氏は、当社との間で会社法第427条第 1 項に<br/>基づき同法第423条第 1 項の損害賠償責任を限定する契<br/>約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任<br/>の限度額は、法令の定める額としております。同氏の再<br/>任をご承認いただいた場合、同氏は当社との間で当該契<br/>約を継続する予定であります。</p> | 一株             |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                           | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 所有する<br>当社の株式数 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3         | <div>  <p>うちだ くみこ<br/>内田 久美子<br/>(戸籍名：宮本久美子)<br/>(1970年 3月 1日生)</p> <div>社外</div> <div>再任</div> <p>社外取締役（監査等委員）<br/>在任年数 4年</p> </div> | <p>2000年 4月 弁護士登録（第二東京弁護士会所属）<br/>2000年 4月 鳥飼総合法律事務所入所<br/>2008年 1月 鳥飼総合法律事務所 パートナー弁護士就任<br/>2011年 4月 (株)ミサワ 社外監査役<br/>2016年 1月 和田倉門法律事務所創設 パートナー弁護士（現任）<br/>2016年 5月 (株)トレジャー・ファクトリー 社外取締役（現任）<br/>2016年 7月 当社 社外取締役（監査等委員）（現任）<br/>2016年12月 (株)インタートレード 社外監査役（現任）<br/>2017年 4月 (株)ミサワ 社外取締役（監査等委員）（現任）<br/>2019年 3月 ピクスタ(株) 社外取締役（監査等委員）（現任）</p> <p>(重要な兼職状況)<br/>和田倉門法律事務所創設 パートナー弁護士<br/>(株)トレジャー・ファクトリー 社外取締役<br/>(株)インタートレード 社外監査役<br/>(株)ミサワ 社外取締役（監査等委員）<br/>ピクスタ(株) 社外取締役（監査等委員）</p> <p>●監査等委員である社外取締役候補者とした理由<br/>内田久美子氏は、弁護士としての専門的な知見を有しており、2016年7月より当社の監査等委員である社外取締役を務め、その豊富な経験・知見等を監査に活かしていただきたいため、引き続き監査等委員である社外取締役として選任するものであります。<br/>なお、同氏は社外取締役および社外監査役となること以外の方法で会社の経営に関与したことはありませんが、上記の理由により社外取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断しております。</p> <p>(特別の利害関係)<br/>内田久美子氏と当社との間に特別の利害関係はありません。また同氏は(株)東京証券取引所が定める独立役員の要件を満たしており、独立役員として同取引所に届け出ております。</p> <p>(責任限定契約)<br/>内田久美子氏は、当社との間で会社法第427条第1項に基づき同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令の定める額としております。同氏の再任をご承認いただいた場合、同氏は当社との間で当該契約を継続する予定であります。</p> | 一株             |

(注) 恩田英夫氏、緒方大助氏および内田久美子氏は、社外取締役候補者であります。

以 上



メ モ

Handwriting practice lines consisting of 15 sets of horizontal dashed lines.

[illegible]

# 美容業界に新しい価値を創造し、 サロンビジネスの繁栄に貢献して参ります。

ビューティガレージグループは、理美容室やエステサロン等のビューティサロンの  
「新規開業」「経営支援」に必要なあらゆるサービスをワンストップで提供しております。



## 株主優待制度のご案内

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社商品および事業への理解を深めていただくこと、また当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、下記内容の株主優待制度を導入しております。

### 対象となる株主様

毎年4月30日現在を基準日とし、1単位（100株）以上を継続して1年以上保有（4月および10月の株主名簿に同一株主番号で連続3回以上記載）されている株主様を対象といたします。

### 株主優待の内容

該当となる株主様1名につき、当社オリジナルブランド商品を贈呈させていただきます。

### 贈呈時期

毎年8月中の発送を予定しております。

### 第18期（2019年度） 期末の商品

## イタリア発 ナチュラルヘアケア「back.bar（バックバー）」 ノンシリコンシャンプー/トリートメントセット

- ①レッドオレンジシャンプー 250ml【カラーケア】（×1本）
- ②パールシャンプー 250ml【ダメージケア】（×1本）
- ③アプリコットシャンプー 250ml【モイスチャーケア】（×1本）
- ④エクストリームコンディショナー 250ml（×2本）
- ⑤クリームプラスマスク 250ml（×1本）

合計希望小売価格 4,000円相当



上記製品を5種6本セットにて贈呈させていただきます。

### 「back.bar（バックバー）」

手掛けたのはイタリアのヘアケアメーカー「Farmavita（ファーマヴィータ）」社。ヘアデザインやカットの技術を競う世界大会「ヘアワールド」にてヘアケアアイテムを全面提供し、バックアップしたチームが5部門でメダルを獲得するなど、その商品の品質にはヨーロッパでも定評があります。中でも「back.bar」はノンシリコンのシャンプー、トリートメントが人気を博し、世界65カ国のサロンで愛されているブランドです。

# 株主総会 会場ご案内図

## TKPガーデンシティ渋谷 ホールA

東京都渋谷区渋谷2-22-3 渋谷東口ビル1階



### 交通のご案内

|            |           |        |
|------------|-----------|--------|
| ● JR       | 渋谷駅 東     | □ 徒歩3分 |
| ● 東京メトロ銀座線 | 渋谷駅       | 徒歩3分   |
| 半蔵門線       | 渋谷駅 B5番出口 | 徒歩3分   |
| 副都心線       | 渋谷駅 B5番出口 | 徒歩3分   |
| ● 東急東横線    | 渋谷駅 B5番出口 | 徒歩2分   |
| ● 東急田園都市線  | 渋谷駅 B5番出口 | 徒歩2分   |

徒歩経路 .....➡

※駐車場の用意はいたしておりませんので、お車でのご来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。